

お知らせ

2000年1月から2012年6月までに当院で消化管間質腫瘍(GIST)の手術を受けられた患者さんへ

研究課題名: *KIT*並びに*PDGFRA*遺伝子に変異を伴わない消化管間質腫瘍(GIST)の臨床病理遺伝学的研究

今回我々は、「*KIT*並びに*PDGFRA*遺伝子に変異を伴わない消化管間質腫瘍(GIST)の臨床病理遺伝学的研究」と題する臨床研究を行います。対象となる患者さんは、過去に、**GIST**の手術を当院で受けられ、患者さんから取り出された腫瘍組織(保管検体)を研究に使用することに同意していただいている方です。研究期間は、倫理委員会承認日(2012年8月20日)から2年です。

本研究は、以前に手術で取り出された**GIST**の腫瘍組織を用いて行われます。術後の病理診断が終了した後に、保管検体を使用して**GIST**組織内における発現蛋白を検索することで、従来の**GIST**と*KIT*や*PDGFRA*遺伝子に変異を伴わない**GIST**—例えば、神経線維腫症に合併する**GIST**や小児型**GIST**—の臨床病理学的或いは遺伝的特徴や予後を明らかにし、治療法を開発することです。

この臨床研究では、患者さんの保管検体が用いられますが、その研究結果が、検討させていただいた患者さん御自身の診断および治療法の選択に、新たに使われることはありません。今後、**GIST**の治療を受ける他の患者さんの治療方針を決めるための新しい基準になり、医療の進歩につながることを期待できます。

本研究は、当院で保管されている患者さんの検体の一部を使用させていただきますので、研究の科学的妥当性と倫理性を当病院の倫理審査委員会で慎重に審査され、承認を受けています。

この臨床研究の結果は、学会での発表等に使われます。しかし、どのような場合でも患者さんのお名前などの個人情報、当院外へ漏れることもありません。この臨床研究では、個人の秘密は守られ、お名前など個人情報が外部に漏れたり公表されることはなく、研究によって患者さん個人が不利益を受けることはありません。

本臨床研究の対象になる患者さんは、前回の同意を撤回、拒否することができます。この臨床研究に関して、具体的な研究内容や本件に関して何かご不明な点などがありましたら、いつでもご遠慮なく下記の試験相談窓口にご相談ください。

本研究は学内研究費のみを使用する研究のため、主任研究者及び分担研究者の開示すべき利益相反はありません。また、主任研究者及び分担研究者は学内利益相反委員会に当該内容を申請し、利益相反は適正に管理されています。

患者さんは、今回の臨床研究にご自身の保管検体を使用することに対して拒否することができます。その場合には下記の間い合わせ窓口までご連絡下さい。

連絡先:.....

病 院 名 : 川崎医科大学附属病院
病院所在地 : 〒701-0192 岡山県倉敷市松島577
病院電話番号 : 086-462-1111(内線44518)
電子メール : yamamura@med.kawasaki-m.ac.jp
主任研究者 : 川崎医科大学 臨床腫瘍学 講師 山村 真弘

<補足>

KIT遺伝子、または血小板由来増殖因子受容体 α (PDGFRA)遺伝子とGISTの関連について

GIST研究会(一般向けページ)のホームページ>GIST診断・治療アップデート(2011年)>GISTにおける遺伝子変異とその臨床的意義<http://www.gist.jp/shindan/0203.html>を参照ください。